



小林小学校

所在地：小林 2708
児童数：133人、学級数：7学級

見て！聞いて！ わたしたちの学校



6年生の(左から)手塚圭祐さん、池田天海さん、小野寺真己さんに聞きました。

手塚さんに聞きました！

今、がんばっていることは？
部活です。ほくはプラスバンドをやっていますが、人数が少ないので一人一人が頑張って練習しています。

池田さんに聞きました！

小林小学校の自慢は？
校庭に古くからある松の木です。おじいちゃんが小学生だった頃よりもっと前からあり、学校を見守ってくれてる感じがしてかっこいいです。

小野寺さんに聞きました！

将来の夢は？
プロアイスホッケー選手です。もっと上手になって、日本人で初めてアメリカのNHL(ナショナルホッケーリーグ)に行った福藤選手のようになりたいです。

3人に聞きました！

好きな学校行事は？
小中合同運動会です。中学生も一緒にやるので盛り上がりやすいです。運動会では、ししまい体操を踊ります。中学生も一緒に踊ると、人数が多いのでとても素晴らしいです。

◆小林小学校の紹介◆
小林小学校は明治6年、小林村の清水沢見宅を仮校舎として開校しました。その翌年の明治7年に、現在の場所に校舎を新築し現在に至ります。学校の周りは、田んぼが広がる農村地帯でも静かです。地域の人たちとの交流活動を積極的に行っている小林小学校では、毎年5月に開催される今市田植祭に参加し、農家の人たちと一緒に、昔ながらの方法での田植えを体験しています。6月の県民の日には、



6月には、塩野室診療所北側にある花壇に種をまく「小林なかよし花壇の花の種まき」も行います(写真①)。この行事には、小林小学校の4年生と、小中一貫教育を実施している小林中学校の1年生が参加しています。地域の

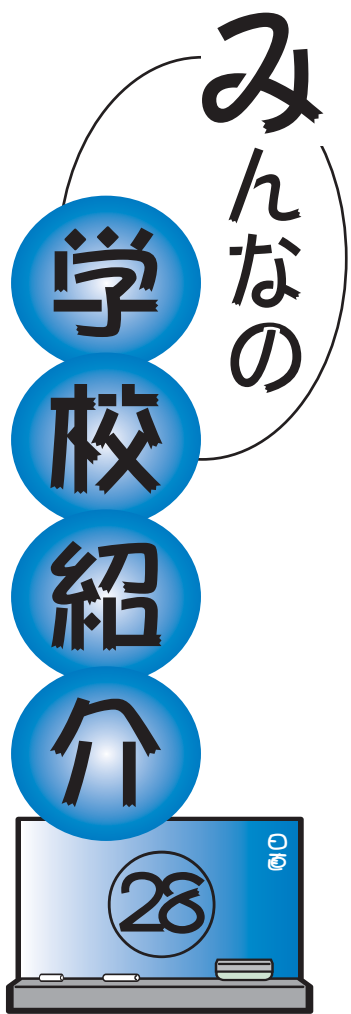
方たちの指導を受けながら、中学生たちと協力し合って種をまいたり、苗を植えたりします。



◆ししまい体操◆
昭和44年、郷土芸能である関白流獅子舞を運動会に取り入れてはどうか、という提案が職員会議で出たのが「ししまい体操」の始まりでした。笛に合わせた獅子舞の独特な振りを、児童でも踊ることのできる簡単な動きにアレンジしながら、小林小学校オリジナルの「ししまい体操」を作り上げました。練習では、ベテランの6年生が3年生に直接教えています(写真②)。



運動会で披露するようになって39年。現在も、児童たちが元気に踊り続けている歴史のある体操です(写真③)。



孤高の画家 斎藤博之 ～洋画と日本画と～

近代の日本の絵画は、「洋画」と「日本画」という枠組みが強く意識されてきました。しかし、その区別にとらわれず、絵画の技法を自由に行き来した画家も存在します。例えば小杉放菴がそうですが、斎藤博之もまた、そのような画家の一人です。斎藤博之はどのような美術公募団体にも所属することなく、個展を中心に孤高の制作を続けました。今回の展覧会では、洋画家でありながら墨絵やペン画、絵本の原画などの制作にも活躍した斎藤博之の画業の全貌を、ご遺族から寄贈を受けた作品によって紹介します。

会 期：9月6日(土)～10月19日(日)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)
入 館 料：一般…700(300)円、大学・高校生…500(200)円、小中学生…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。右上にある市民割引券を切り取ってご利用ください。



斎藤博之「駆ける」1960(昭和35)年 カンヴァス・油彩

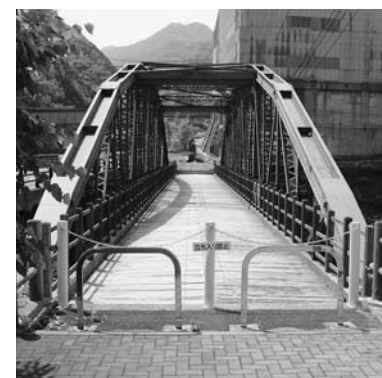


斎藤博之「獨坐対月心悠々」1982(昭和57)年 紙本墨画

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO 小杉放菴記念日光美術館

日光市の文化財 ⑱

日光市指定文化財 ふるかわばし 古河橋



種 別 有形文化財(建造物)
指定年月日 昭和56年12月1日
【旧足尾町指定】
所 在 地 日光市足尾町赤倉

古河橋は足尾町赤倉と本山の間を流れる渡良瀬川に架かる長さ四八・五m、幅員四・八mの鉄橋です。足尾銅山では、明治一六年に本口坑で優良鉱脈が発見され、産銅量の急増に対応するため、翌一七年に現在の製錬所のある場所に直利橋製錬分工場が開設されました。これに伴い、木造の直利橋が架設されましたが、明治二〇年の大火により消失してしまいました。火事を教訓に、当時まだ稀少であった鉄橋により再建されたのが古河橋です。建設中には工事用の足場が洪水で流されるなど困難もありましたが、明治二三年一月に完成しました。また、資材の運搬路などとして重要な役割を担っていたことから、翌年には電気鉄道も敷設されています。古河橋は、足尾銅山の先進性を示す重要な建造物であるだけでなく、当時のまま現存する明治時代中期の道路用鉄橋としても貴重です。現在は隣に架設された新しい古河橋にその役目を譲っています。

